

徹底した監視と診断で防ぐ

後編

(かみやま・りゅうじ) セキュアソフト株式会社の技術本部長として自社IPS製品「Sniper ONE」の企画・技術サポートを統括。2016年サービス&セキュリティ株式会社取締役とセキュリティ本部長を兼務し、セキュリティ運用監視センター(SOC)の立ち上げに携わる(18年にサービス開始)。

(みやの・たかし) 1973年コンピューターサービス株式会社(現SCSK株式会社)入社。2004年株式会社センソ情報システムズ代表取締役社長、16年株式会社Office HIRYU 最高経営責任者(CEO)〈現任〉。18年サービス&セキュリティ株式会社副社長。企業の社外取締役・顧問・アドバイザーの実績多数。

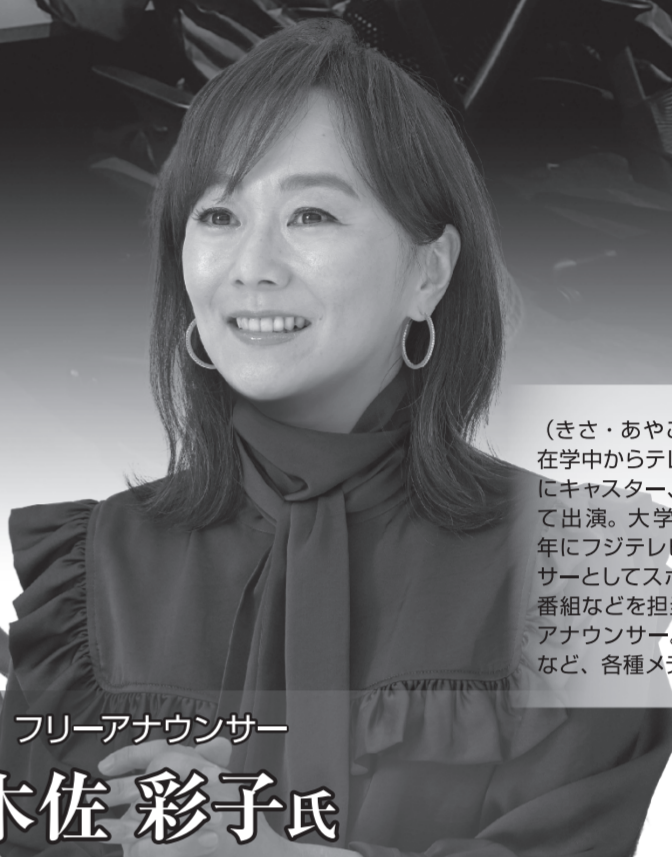
(ささ・あやこ) 青山学院大学在学中からテレビ朝日系の番組にキャスター、リポーターとして出演。大学卒業後の1994年にフジテレビ入社。アナウンサーとしてスポーツ番組や報道番組などを担当。現在はフリーアナウンサー。CMに出演するなど、各種メディアで活躍中。



セキュアソフト 副社長
神山 竜二氏

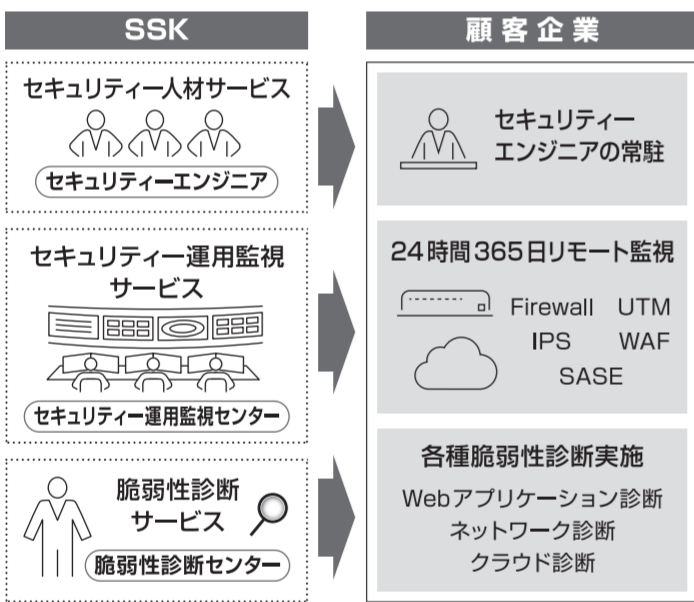


サービス&セキュリティ 副社長
宮野 隆氏



フリーアナウンサー
木佐 彩子氏

総合セキュリティサービス



顧客ニーズに柔軟に対応する監視業務

日本企業全体で見れば3分に1回はサイバー攻撃を受けているといわれる時代。防御を固めるセキュリティ関連サービスで急成長しているのがサービス&セキュリティ株式会社(SSK)と株式会社セキュアソフトだ。グループ経営幹部へのインタビュー後編では、神山竜二セキュアソフト副社長と宮野隆SCSK副社長が「同業他社にはない強み」について語った。聞き手は前編に続きフリーアナウンサーの木佐彩子氏が務めた。

木佐 前編では、競争力の源泉となる人材について中心に伺いました。一方で、SSKが提供する具体的なセキュリティサービスも教えてください。

宮野 まずSSKという会社が何をやっているかをお話ししましょう。SSKは1500人を超える社員を抱え、IT人材サービスとして業務システムの運用管理、システム開発、ネットワークなどインフラ構築、それと総合セキュリティサービスを提供しています。総合セキュリティサービスとは、①「セキュリティ運用監視センター(SOC)」でおこなう顧客システムの24時間365日監視②「脆弱性診断センター」で実施するシステムの脆弱性発見と対策立案③顧客企業へのセキュリティエキスパート提供の3本柱です。

運用監視センターが脆弱性診断センターのうち、どちらか一方のセンターを持っている会社はほかにありませんが、両方を運営しているのはSSKを含め数社だけです。また、エキスパートを顧客企業に提供するオンサイトサービスまで

実施しているのはさらに少数です。ここがSSKの競争力の源泉です。木佐 セキュリティーエキスパートの存在がますます重要になりますね。

宮野 そうです。当社は、自社のSOCと診断センターで実務を経験させながら人材育成しています。昨年、社内に「セキュリティ人材育成委員会」を新設し2027年までにエキスパートを700人育てようというのが現在の計画です。

木佐 サイバー攻撃の被害がやまない今、どのような対策が必要でしょうか？

神山 セキュリティーを考えると一番のリスクは慢心です。サイバー攻撃の兆しがあるのか、攻撃によってシステム内部に入り込まれていないかを監視することが重要です。最悪なのは攻撃を受けていることに気づかず、システムに侵入されていること。こうなると対策や復旧策を立てるのが遅れてしまい、被害が広がります。当社のSOCでは、業務に携わる人員を事前に徹底的にトレーニングし、24時間365日有人の監視を続けています。監視チーム内には常時、経験豊富なエキスパートがおり、夜間でも、顧客企業と相談してすぐに対策を立案できます。さらに当社の強みです。さらに当社の監視業務は、顧客企業内にある情報システムだけでなく、顧客企業が利用している第三者のクラウドシステムまでカバーしています。これまでカバー範囲が広いサービスを提供している会社は少ないと思います。



エキスパートが防御の穴を見つける

宮野 監視して今現在のリスクを軽減する一方、将来リスクを減らすには顧客の情報システムに弱点がないか診断することが重要です。防御の穴を見つけたら是正措置をとります。顧客が新しいシステムを立ち上げた場合は、必ずこの脆弱性診断を行います。

木佐 脆弱性診断サービスではどんな特徴があるのでしょうか。

神山 一番の特徴は顧客企業のシステムにおけるセキュリティ上の穴を見つけて出すエキスパートの技術の高さです。日々、診断時に多種多様な脆弱性が見つかっていますが、現状では経験を積んだエキスパートでしか発見できないものがあります。当社には頼りになるエキスパートが数多くいます。また、診断対象の幅が広いのも当社の脆弱性診断サービスの特徴で、ウェブサイトのシステムにとどまらずネットワーク、スマートフォン、クラウドシステム等の脆弱性も発見し対策を提案しています。

木佐 SSKは今後どのようにセキュリティサービスを提供していくのでしょうか。

宮野 日本企業全体でみれば3分に1回はサイバー攻撃を受けているといわれています。サイバー空間での攻防戦はまさに、いちごこの様相を呈しています。たまたまセキュリティ被害が出ていないから対策を打たなくていいわけではないと思います。日本企業でも最近社内CSIRT(Computer Security Incident Response Team)を立ち上げる動きが増えています。コンピュータやネットワーク上で問題が起きていないか監視し、問題が発生した場合にその原因解析や影響範囲の調査をするチームです。しかし、すべて社内の人材でチームを結成するのが難しいケースもあります。そうした企業に我々が社内ですべての専門的なノウハウを提供するサービスも拡大していきます。

神山 監視、診断のサービスで積み重ねた経験をもとに、セキュリティに詳しくない顧客企業の担当者様とも平易な言葉で話し合い、ニーズを探り出し、適切なセキュリティ対策の提案ができるコンサルティングサービスを加え、セキュリティに関する業務すべてをお任せいただく総合セキュリティサービス企業の実現を目指します。

木佐 きょうはセキュリティービジネスとして、高度な人材と経験豊富なサービスの両輪が競争力の源泉だということがよく理解できました。ありがとうございました。

木佐 SSKは今後どのようにセキュリティサービスを提供していくのでしょうか。

宮野 日本企業全体でみれば3分に1回はサイバー攻撃を受けているといわれています。サイバー空間での攻防戦はまさに、いちごこの様相を呈しています。たまたまセキュリティ被害が出ていないから対策を打たなくていいわけではないと思います。日本企業でも最近社内CSIRT(Computer Security Incident Response Team)を立ち上げる動きが増えています。コンピュータやネットワーク上で問題が起きていないか監視し、問題が発生した場合にその原因解析や影響範囲の調査をするチームです。しかし、すべて社内の人材でチームを結成するのが難しいケースもあります。そうした企業に我々が社内ですべての専門的なノウハウを提供するサービスも拡大していきます。

神山 監視、診断のサービスで積み重ねた経験をもとに、セキュリティに詳しくない顧客企業の担当者様とも平易な言葉で話し合い、ニーズを探り出し、適切なセキュリティ対策の提案ができるコンサルティングサービスを加え、セキュリティに関する業務すべてをお任せいただく総合セキュリティサービス企業の実現を目指します。

木佐 きょうはセキュリティービジネスとして、高度な人材と経験豊富なサービスの両輪が競争力の源泉だということがよく理解できました。ありがとうございました。

※副社長へのインタビューは11月17日掲載済

対談の詳細は日経電子版広告特集で公開中▶▶▶



お問い合わせはこちら！
E-Mail : sales@securesoft.co.jp
サービス&セキュリティ :
<https://www.ssk-kan.co.jp/>
セキュアソフト :
<https://www.securesoft.co.jp/>



サービス & セキュリティ株式会社



株式会社セキュアソフト

広告

企画・制作=日本経済新聞社 Nブランドスタジオ